

自治体による環境国際協力に対する市民の認知と支持との関係

中村 秀規*・加藤 尊秋**

摘 要

一般市民を対象とした社会調査を横浜市と北九州市で行い、都市間環境協力の認知、支持の程度、及び協力において重視する点を尋ねた。協力事業をよく知っている市民ほど自治体の環境国際協力を支持的である。

* (財)地球環境戦略研究機関 ガバナンスと能力グループ

**北九州市立大学 国際環境工学部

1. はじめに

中村・加藤（近刊）では地球温暖化や国際協力に対する態度・行動による日本の市民のグループ分けとグループごとの自治体による環境国際協力の支持状況が議論されている。そのうえで、途上国からの排出権獲得による地球温暖化対策に対する賛否から、地球温暖化に関する自治体環境国際協力を市民の支持を得て進めるための示唆が論じられている。本稿では、前掲論文では触れられていない、自治体による環境国際協力に関する市民の認知と支持との関係を示す。具体的には、自治体による個別の環境国際協力事業に対する市民の認知と今後の協力に対する支持との関係に関して、前掲論文で使用した日本の2市（横浜市、北九州市）での市民を対象とする社会調査結果のうち、個別事業の認知、今後も環境国際協力を進めるべきかどうかに関する支持の状況、及び市の環境国際協力において重視するメリットに関するデータを用いて、個別事業の認知と支持との関係を分析する。

横浜市及び北九州市のこれまでの環境国際協力には、横浜市においては規範的な理由のみに基づいて実施されているが北九州市においては環境産業の振興という物質的な理由も考慮して実施されているという特徴がある（Nakamura et al., 2010）。社会調査の概要は以下のとおりである（中村・加藤, 近刊）。横浜市、北九州市の20歳以上男女、各都市1,757人（住民基本台帳からの二段階無作為抽出）に対して調査票を郵送配布・郵送回収し、原則として督促1回を行った。発送は2010年2月に、回収は同年2-3月に行われた。横浜市で38%、北九州市で39%の方から回答（部分的な欠損データを有するものを含む）を得た。

2. 都市間環境国際協力の認知と評価

横浜市では4つの個別事業、北九州市では5つの個別事業について、それぞれの環境国際協力の認知状況を尋ねた。事業別の認知状況は表1のとおりである。横浜市における津波復興支援に関連する協力、北九州市の大連市への協力や都市間ネットワークプログラムを通じた協力が比較的認知されており、人道支援に関する事業や10年以上にわたって継続して実施された事業がより認知されやすい傾向が見られる。横浜市の津波被害復興支援は市民からの義援金を募って活動に使用しており、そのために知られている可能性がある。ただし横浜市での都市間ネットワーク（シティネット）は実施期間に比して認知されていない。

市の協力事業の認知度を以下のように3段階評価する：「聞いたことがある」または「よく知っている」事業が1つもない＝「低い」、1つまたは2つの事業について「聞いたことがある」または「よく知っている」＝「中程度」、3つ以上の事業について「聞いたことがある」または「よく知っている」＝「高い」。年代別にみると、両市ともに若い世代の市民よりも

高年齢の市民による認知度が高い（表 2 参照，独立性に関するカイ二乗検定によれば有意水準 1%で独立性の仮説は棄却され，従って年代によって認知度の分布が異なると考えられる）。また表 3 に示すように，都市による認知度の分布の差は見られない（独立性に関するカイ二乗検定によれば有意水準 1%で独立性の仮説は棄却されず，従って 2 都市で認知度の分布は同じであると考えられる）。

また「今後も環境国際協力を進めるべきかどうか」についての支持・不支持の程度を 5 段階尺度（進めるべきでない、どちらかと言えば進めるべきでない、どちらともいえない、どちらかと言えば進めるべき、進めるべき）で尋ねた。両市ともにあわせて約 8 割の回答者が、「進めるべき」、「どちらかと言えば進めるべき」と回答している。比較的良好に知られている 3 つの個別事業の認知状況と協力支持程度との関係は表 4 に示すとおりであり，個別事業を良く知っている市民ほど環境国際協りに明確に支持的である（独立性に関するカイ二乗検定によれば有意水準 1%で独立性の仮説は棄却され，認知状況によって協力支持程度は異なると考えられる）。

さらに「環境国際協力で大切なこと」について 5 つ（北九州市では 6 つ）の選択肢を提示し複数回答可で回答を得た。北九州市では，光化学スモッグや漂流ごみなど他国起源と考えられる市内の環境問題（越境環境問題）の解決に役立つことが最も多く 7 割近くの市民に重視されており（この設問は北九州市のみ），また両市ともにそれとほぼ同じ比率の市民が国際協力を環境教育に役立てることが重要と考えている。次いで途上国環境改善，及び国際協力を通じて誇りが持てる都市になることが重要視されており，市内環境関連企業の海外展開に役立つことや市内の雇用増加は 3 割から 4 割の市民が重視している。横浜市と北九州市との間で比較可能な 5 項目について重視する人の比率を比較すると，市内雇用増加が北九州市で 7 ポイント比率が高く，途上国環境改善について横浜市で 9 ポイント比率が高い。

個別の協力事業の認知状況と市の環境国際協りに関する重視する点との関係は表 5 のとおりである。表ではクロス集計で独立性に関するカイ二乗検定（1%水準）で独立性の仮説が棄却され認知状況によって重視する点が異なると判断されるもののみ掲載している。環境教育への貢献及び市内雇用増加については事業の認知状況による差異が見られないが，国際協力の点で世界に誇れる都市になることについては 9 つのうち 6 つの事業で認知度が高い市民ほど重視する傾向が見られる。北九州市の中国・大連に対する協力や天津・青島のリサイクルに対する協力については認知度が高いほど市内環境企業の海外展開を重視する市民が多く，実態を反映している。協力しているという事実だけでなく具体的な協力の内容や実績を認知することが肯定的評価や目的の理解に繋がっていると考えられる。

3. 結 論

自治体環境国際協力の事業別の認知状況を見ると、横浜市における津波復興支援に関連する協力、北九州市の大連市への協力や都市間ネットワークプログラムを通じた協力が比較的認知されており、人道支援に関する事業や10年以上継続して実施された事業が概して認知されやすい傾向が確認された。また認知度の高い市民ほど環境国際協力に支持的である。さらに事業の認知度と環境国際協力において重視する点との関係を見ると、環境教育への貢献及び市内雇用増加については認知状況による差異が見られないが、国際協力の点で世界に誇れる都市になることについては過半数の事業で認知度が高い市民ほど重視する市民が多い傾向が見られる。北九州市の中国に対する協力については認知度が高いほど市内環境企業の海外展開を重視する市民が多く、事業の実態を反映している。市の協力実績を具体的に知っていることが肯定的評価と目的の理解に繋がっている。また両市とも若い市民の事業認知が低かった。

以上のことから、事業を継続的に実施し、その目的や実績について市民に周知し認知度を向上させることで自治体の環境国際協力に対する支持を強めることができると考えられる。広報に関しては、北九州市が中国・大連に対する環境協力やインドネシアなどで行ってきた有機廃棄物の堆肥化によるごみ減量に対する協力について、分かりやすく効果を示したパンフレットが作成され、市のイベント、雑誌などで紹介されており、よい例と考えられる。同時に若い市民向けの広報が課題である。

謝 辞

本調査にご協力下さいました横浜、北九州の市民の方々に感謝申し上げます。本研究は環境省環境研究総合推進費 E-0906 及び神奈川県地球環境戦略研究機関補助金の支援を得ました。

文 献

中村秀規・加藤尊秋（近刊）自治体による環境国際協力に対する市民の支持構造：地球温暖化に関する国際都市間連携への示唆．環境科学会誌．

Nakamura, H. M. Elder, and H. Mori (2010) Explaining international environmental co-operation by Japanese city governments with developing countries, Institute for Global Environmental Strategies

表

表 1 市の環境国際協力の事業別認知状況

都市	事業内容	知らない	聞いたことはある	よく知っている	計
横浜市	(1) 東南アジア・南アジア都市の環境教育への協力	497 76.8%	137 21.2%	13 2.0%	647 100.0%
	(2) インドネシア・バンダアチェ市の津波被害復興支援	322 49.3%	255 39.1%	76 11.6%	653 100.0%
	(3) ベトナムやアフリカ諸国の水道事業の人材育成	397 60.7%	221 33.8%	36 5.5%	654 100.0%
	(4) 「シティネット」による国際協力	494 75.7%	144 22.1%	15 2.3%	653 100.0%
	北九州市	(1) 中国・大連の環境モデル地区づくり	378 56.4%	258 38.5%	34 5.1%
(2) 中国・天津、青島のリサイクル推進		525 78.1%	133 19.8%	14 2.1%	672 100.0%
(3) インドネシア・スラバヤやタイ・バンコクでの生ごみ堆肥化		511 75.9%	140 20.8%	22 3.3%	673 100.0%
(4) フィリピン・セブでの河川清掃と環境教育		550 82.3%	104 15.6%	14 2.1%	668 100.0%
(5) 「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」による国際協力		378 56.3%	254 37.9%	39 5.8%	671 100.0%

表 2 年代別の市の環境国際協力の認知度

年代	市の環境国際協力の認知度			計
	低い	中程度	高い	
20歳代	71 53.4%	48 36.1%	14 10.5%	133 100.0%
30歳代	110 54.5%	69 34.2%	23 11.4%	202 100.0%
40歳代	108 46.2%	95 40.6%	31 13.2%	234 100.0%
50歳代	87 37.5%	96 41.4%	49 21.1%	232 100.0%
60歳代	75 25.7%	117 40.1%	100 34.2%	292 100.0%
70歳以上	53 23.2%	99 43.4%	76 33.3%	228 100.0%
合計	504 38.2%	524 39.7%	293 22.2%	1321 100.0%

表3 都市別の市の環境国際協力の認知度

	市の環境国際協力事業認知度			計
	低い	中程度	高い	
横浜市	253	267	140	660
	38.3%	40.5%	21.2%	100.0%
北九州市	256	261	166	683
	37.5%	38.2%	24.3%	100.0%
計	509	528	306	1343
	37.9%	39.3%	22.8%	100.0%

表4 個別の環境協力事業認知状況と環境協力支持度

都市	協力事業	認知状況	環境協力支持度				計	
			進めるべきでない	どちらかといえば進めるべきでない	どちらともいえない	どちらかといえば進めるべき		進めるべき
横浜市	インドネシア津波被害復興支援	知らない	10	6	45	105	138	304
			3.3%	2.0%	14.8%	34.5%	45.4%	100.0%
		聞いたことはある	7	4	27	107	96	241
		よく知っている	0	0	5	19	49	73
		計	17	10	77	231	283	618
			2.8%	1.6%	12.5%	37.4%	45.8%	100.0%
北九州市	中国・大連の環境モデル地区づくり	知らない	9	0	50	126	160	345
			2.6%	0.0%	14.5%	36.5%	46.4%	100.0%
		聞いたことはある	5	3	18	79	148	253
		よく知っている	0	0	1	4	29	34
		計	14	3	69	209	337	632
			2.2%	0.5%	10.9%	33.1%	53.3%	100.0%
北九州市	「北九州イニシアティブ」	知らない	6	1	54	120	165	346
			1.7%	0.3%	15.6%	34.7%	47.7%	100.0%
		聞いたことはある	7	2	15	86	140	250
		よく知っている	1	0	0	4	34	39
		計	14	3	69	210	339	635
			2.2%	0.5%	10.9%	33.1%	53.4%	100.0%

表5 個別の環境協力事業認知状況と環境協力で重視する点

都市	協力事業	認知状況	市の環境国際協力で大切な点										
			途上国の環境問題解決		世界に誇れる都市になること		市内環境企業の海外展開		越境環境問題への対処				
			非重視	重視	非重視	重視	非重視	重視	非重視	重視	計		
横浜市	インドネシア津波復興支援	知らない			199	118						317	
					62.8%	37.2%						100.0%	
		聞いたことはある			129	124						253	
		よく知っている			51.0%	49.0%						100.0%	
		計			29	46						75	
横浜市	水道事業人材育成	知らない			199	118						317	
					62.8%	37.2%						100.0%	
		聞いたことはある			129	124						253	
		よく知っている			51.0%	49.0%						100.0%	
		計			29	46						75	
北九州市	中国・大連の環境モデル地区	知らない			204	168	230	142	256	116	134	238	372
					54.8%	45.2%	61.8%	38.2%	68.8%	31.2%	36.0%	64.0%	100.0%
		聞いたことはある			108	148	108	148	129	127	62	194	256
		よく知っている			42.2%	57.8%	42.2%	57.8%	50.4%	49.6%	24.2%	75.8%	100.0%
		計			8	26	4	30	10	24	6	28	34
北九州市	中国・天津、青島のリサイクル推進	知らない			292	227	292	227	329	190			519
					56.3%	43.7%	63.4%	36.6%					100.0%
		聞いたことはある			47	85	47	85	64	68			132
		よく知っている			35.6%	64.4%	48.5%	51.5%					100.0%
		計			4	10	3	11					14
北九州市	インドネシア等での生ごみ堆肥化	知らない			277	228	277	228					505
					54.9%	45.1%							100.0%
		聞いたことはある			58	81	58	81					139
		よく知っている			41.7%	58.3%							100.0%
		計			8	14							22
北九州市	フィリピンでの河川清掃と環境教育	知らない			296	250	296	250					546
					54.2%	45.8%							100.0%
		聞いたことはある			43	58	43	58					101
		よく知っている			42.6%	57.4%							100.0%
		計			2	12							14
北九州市	「北九州イニシアティブ」	知らない			222	152	222	152	249	125	132	242	374
					59.4%	40.6%	66.6%	33.4%	35.3%	64.7%			100.0%
		聞いたことはある			116	137	116	137	131	122	68	185	253
		よく知っている			45.8%	54.2%	51.8%	48.2%	48.2%	26.9%	73.1%		100.0%
		計			4	34	16	22	3	3	35	38	
			10.5%	89.5%	42.1%	57.9%	7.9%	92.1%			100.0%		
			342	323	396	269	203	462	665				
			51.4%	48.6%	59.5%	40.5%	30.5%	69.5%	100.0%				